

【訂正後】



2014年3月期 第3四半期決算 決算補足資料

2014年2月5日
日本水産株式会社

◆ 前年同期比で増収増益

- ◆ 水産事業は国内の水産物市況の回復やニッスイ個別で在庫圧縮を進めたこと、海外では事業再編や魚価回復による鮭鱒養殖事業の収支改善などにより増収増益
- ◆ 食品事業は国内で円安による輸入品コスト高の影響を、生産性向上や販売経費削減、販売価格改定などにより一部をカバー、海外は地域によりまだら模様
- ◆ 海外の不振事業に一定の目途
 - 山東山孚日水(中国:水産品・冷凍食品の製造・販売)は出資金を持分比率14.89%まで譲渡。(売却損 ▲7.8億円)
 - Sealordグループ(ニュージーランド:持分法適用会社)はアルゼンチン子会社全株式を売却し、アルゼンチン事業から撤退。(撤退に伴う当社の損失負担額 ▲15.1億円)
 - ロヒタム(ドイツ:冷凍食品の製造・販売)は事業譲渡完了。(第2四半期までに大半の特別損失を織り込み済み)

◆ 水産事業は増収増益、食品事業は増収であるが利益は前年並み

(単位:億円)

	2014年3月期 第3四半期	2013年3月期 第3四半期	増減
売上高	4,486	4,225	261
水産事業	1,860	1,729	130
食品事業	2,124	2,002	122
ファインケミカル事業	215	208	7
物流事業	106	101	4
その他	179	184	▲ 4
営業利益	116	76	40
水産事業	41	2	39
食品事業	24	21	2
ファインケミカル事業	58	56	1
物流事業	13	15	▲ 1
その他	8	9	▲ 1
全社経費	▲ 29	▲ 29	0
経常利益	112	61	51
当期純利益	58	22	36

◆ 全体で増収増益。特に国内と南米の利益が改善

(単位:億円)

	2014年3月期 第3四半期	2013年3月期 第3四半期	増減
売上高	1,860	1,729	130
営業利益	41	2	39

【第3四半期総括】

- 国内は鮭鱒、えびを中心に水産物市況が回復し、ぶり養殖事業も好調に推移
- ニッスイ個別で在庫圧縮
- 北米は助子の生産量減少、助子・すりみ価格下落などにより減益
- 南米は漁撈事業の縮小・撤退により減収となるが利益は改善
- ヨーロッパは販売エリアの拡大もあり増収

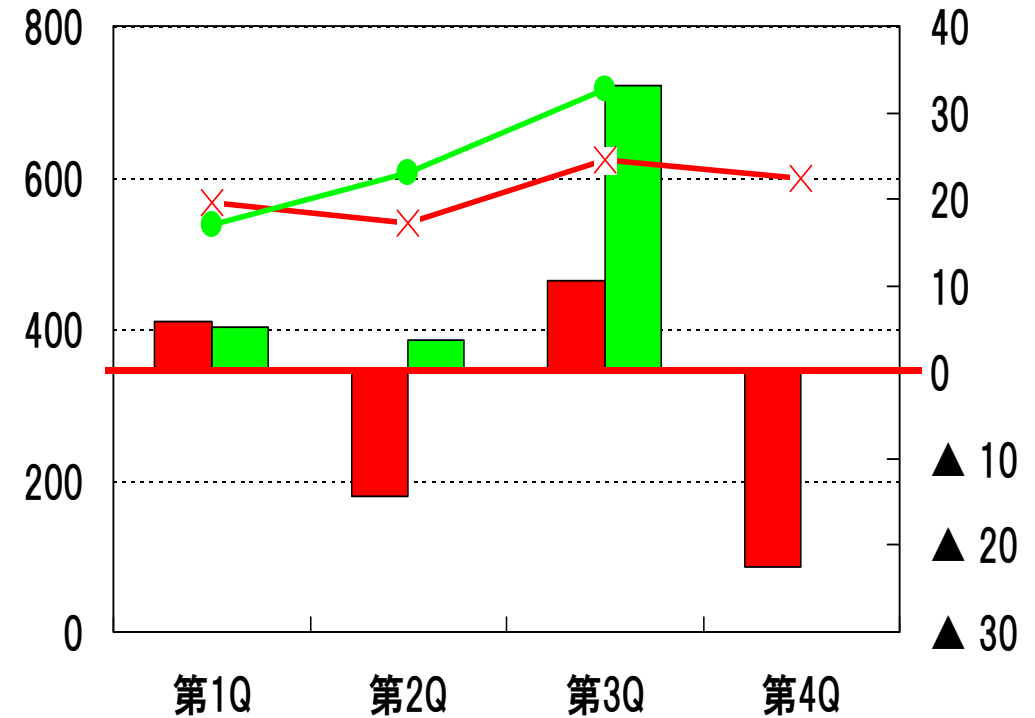
【第4四半期打ち手】

- 国内は在庫コントロールを継続するとともに養殖技術の進化を目指す
- 食材化・惣菜化を推進し成長を目指す
- 海外は効率的な操業、養殖により利益確保に努める

売上高・営業利益(四半期別)

(単位:億円)

左軸(折れ線グラフ):売上高 右軸(棒グラフ):営業利益



■ '13/3営業利 ■ '14/3営業利 -x- '13/3売上 ● '14/3売上



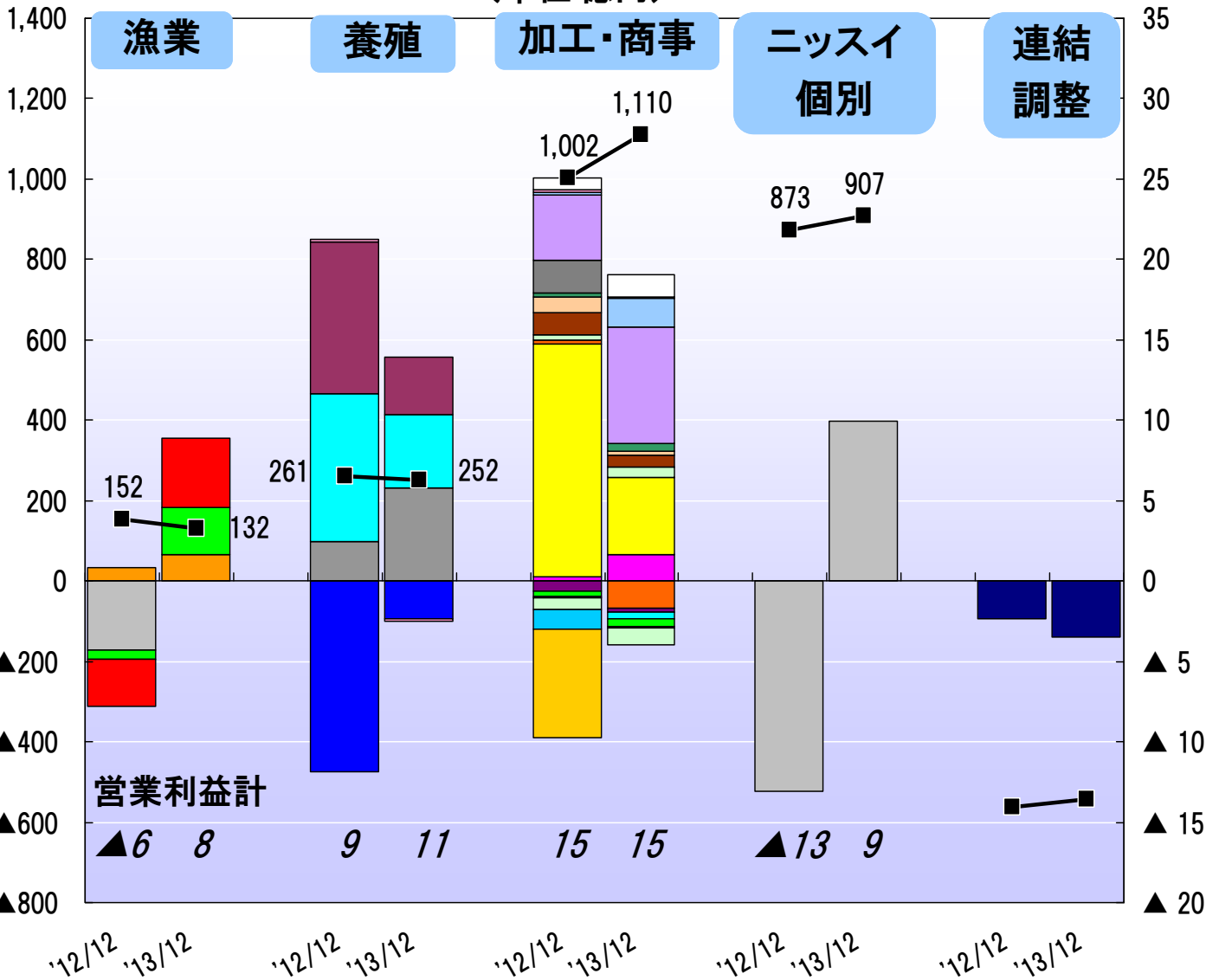
水産事業 売上高・営業利益(前年同期比)



左軸(折れ線グラフ):売上高

(単位:億円)

右軸(棒グラフ):営業利益



主な増減要因

【漁業】

- 南米の漁撈事業は事業再編・撤退などにより前期赤字分が改善、効率的な操業を行う

【養殖】

- 国内養殖事業は、ぶりが魚価・数量共に好調、まぐろは魚価下落、数量減少
- チリの鮭鱒養殖事業は魚病の影響で原価コストが上昇したが、魚価が上昇し利益は大幅に改善

【加工・商事】

- アメリカのすけそうだら事業は、すりみ・フィレは数量増、助子は数量減、価格は全体で下落
- ブラジルのティラピア養殖・加工からは撤退

【ニッスイ個別】

- 在庫圧縮
- 水産物市況が回復し、特に鮭鱒、えびの販売価格が上昇

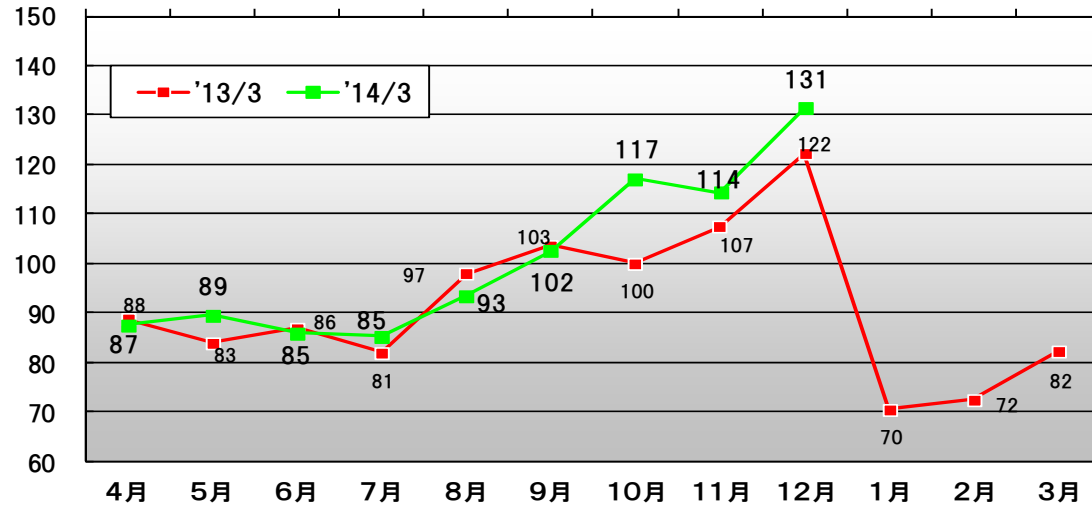
※漁業、養殖、加工・商事のグラフは連結子会社の合計を記載
 ※グラフ下部の斜体数値は機能別 営業利益合計数値
 ※営業利益の連結調整にはのれん償却、たな卸資産の未実現利益等が含まれる

水産事業 ニッスイ個別(前年同期比)



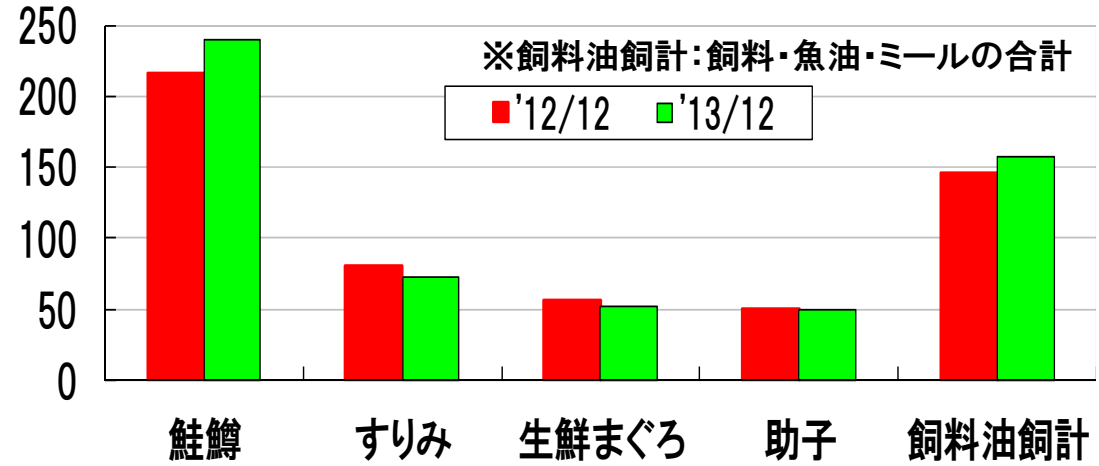
売上高(月別)

(単位:億円)



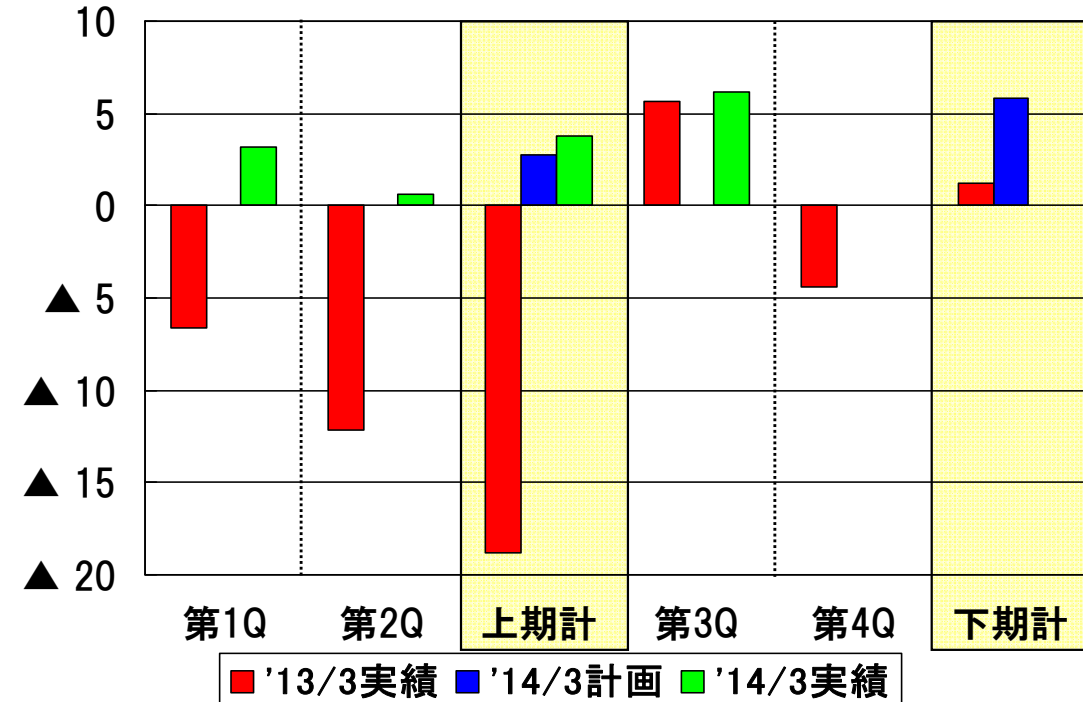
主要魚種別 売上高(前年同期比)

(単位:億円)



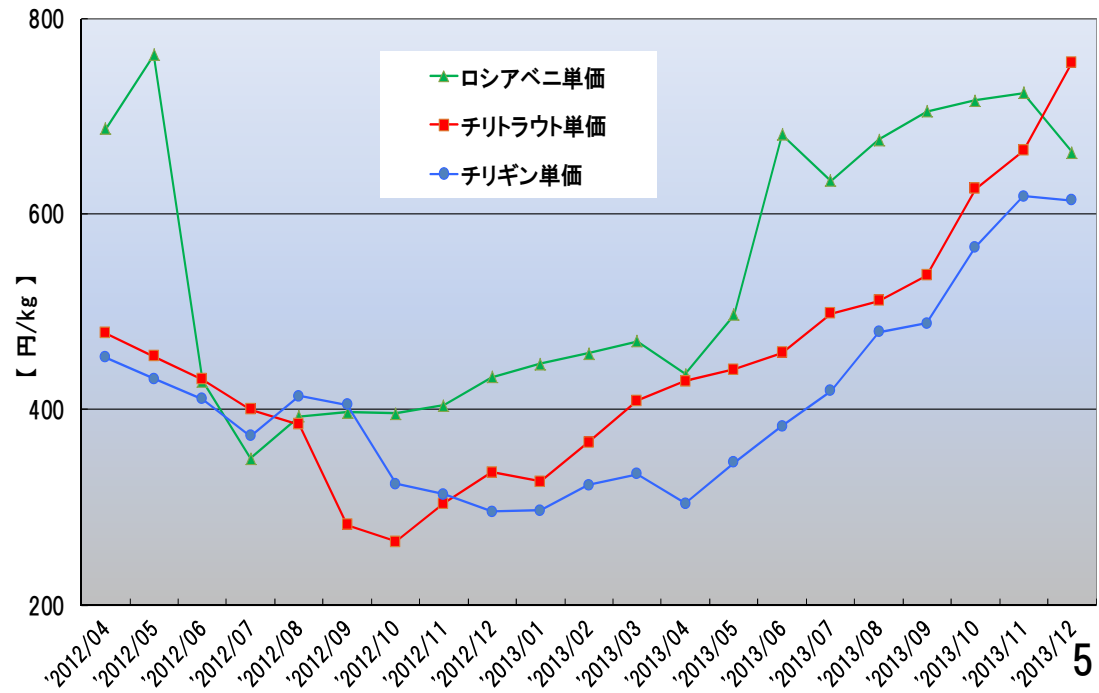
営業利益(四半期別)

(単位:億円)



※ ■ '14/3計画については、当初計画を変えておりません

水産物市況 鮭鱒(財務省貿易統計より算出)



◆ 増収であるが利益はほぼ横ばい。国内は減収増益、海外は円安効果もあり増収だが減益

(単位:億円)

	2014年3月期 第3四半期	2013年3月期 第3四半期	増減
売上高	2,124	2,002	122
営業利益	24	21	2

【第3四半期総括】

- 国内はニッスイ個別、チルド事業が減収となったものの、生産性向上や販売経費削減などの取り組みが進み増益
- 海外は為替の影響もあり増収となったが、北米が苦戦し減益。ヨーロッパは順調に推移

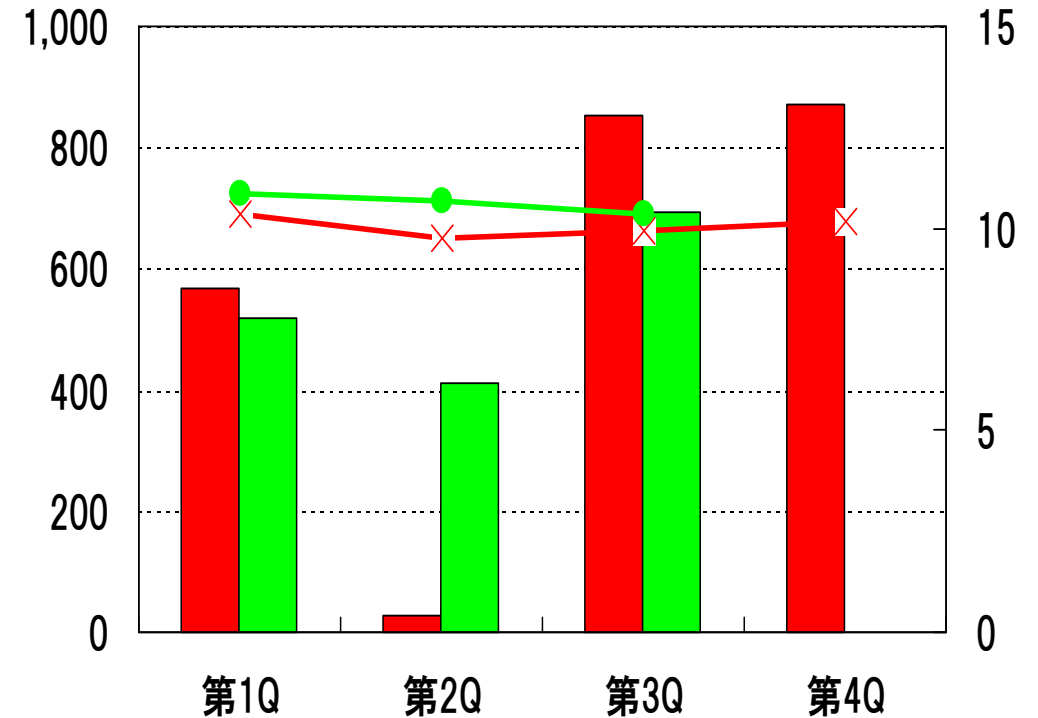
【第4四半期打ち手】

- 国内は生産性向上、販売経費削減などのコストダウン、販売価格改定努力を継続
- 家庭用冷凍食品の販売促進
- 全温度帯の惣菜化の推進と水産と一体となった販売強化

売上高・営業利益(四半期別)

(単位:億円)

左軸(折れ線グラフ):売上高 右軸(棒グラフ):営業利益



■ '13/3営業利益 ■ '14/3営業利益 -x- '13/3売上 ● '14/3売上



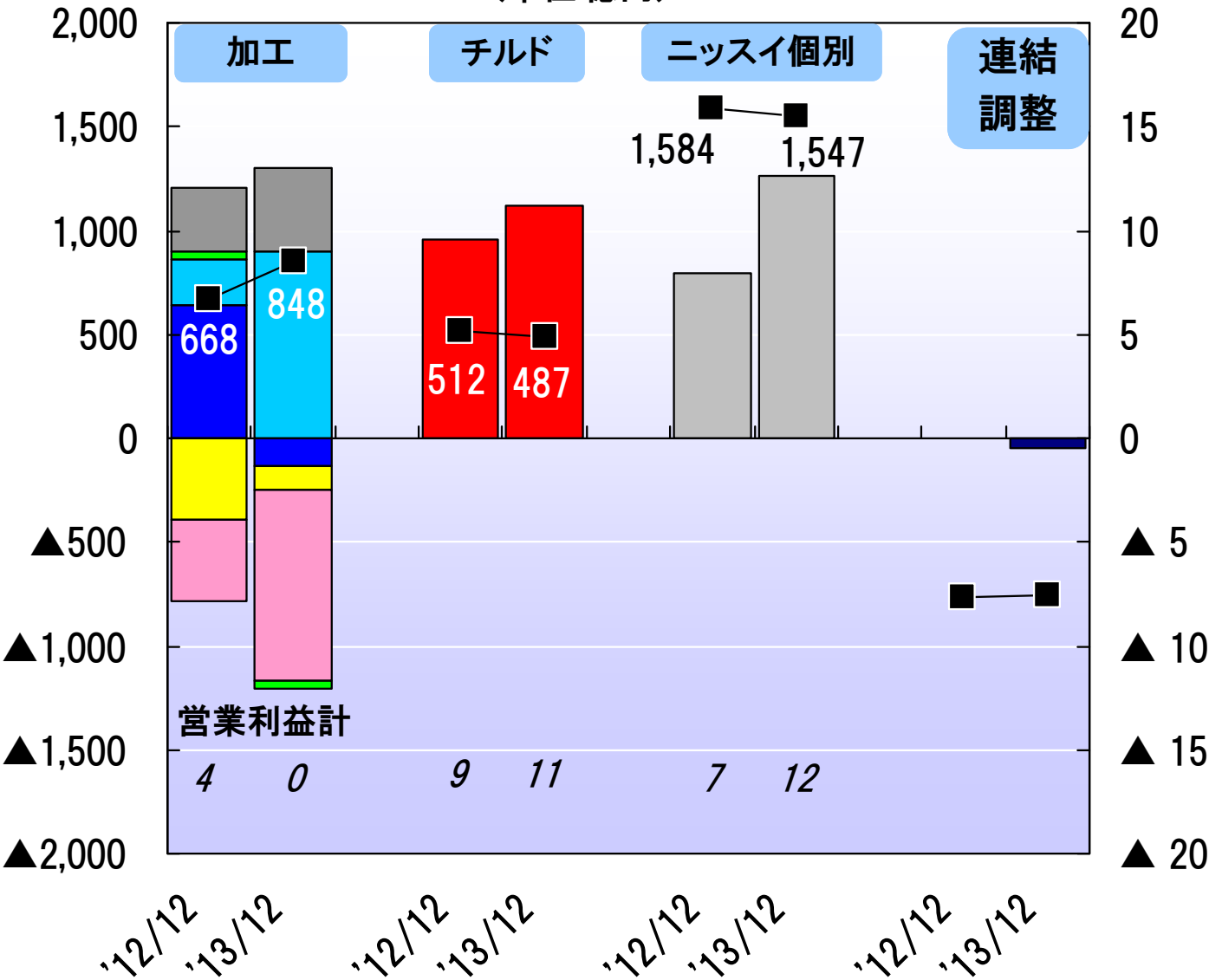
食品事業 売上高・営業利益(前年同期比)



左軸(折れ線グラフ):売上高

(単位:億円)

右軸(棒グラフ):営業利益



主な増減要因

【加工】

- フランスの水産食品会社は新商品投入、生産能力増強が寄与。ドイツの冷凍食品会社は7月末に売却完了
- 北米の冷凍食品会社は厳しい価格競争があり減益

【チルド】

- 生産品目の見直しにより減収となるが、生産性の改善などにより増益

【ニッサイ個別】

- 円安による輸入原材料・製品のコスト高の影響があったが、生産性向上、販売経費削減などのコストダウン、販売価格改定などに取り組み増益

※加工、チルドは連結子会社の合計を記載

※グラフ下部の斜体数値は機能別合計数値

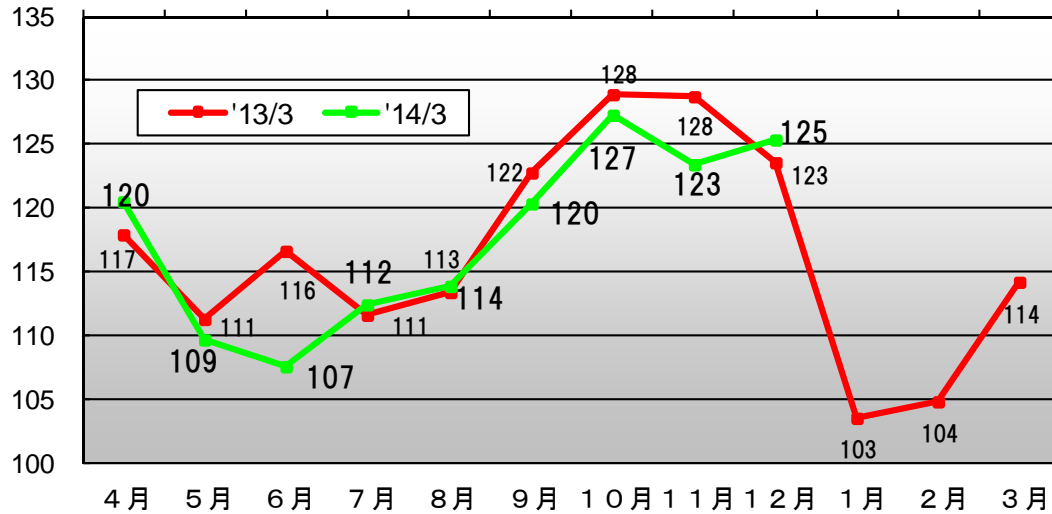
※営業利益の連結調整にはのれん償却、たな卸資産の未実現利益等が含まれる

食品事業 ニッスイ個別(前年同期比)



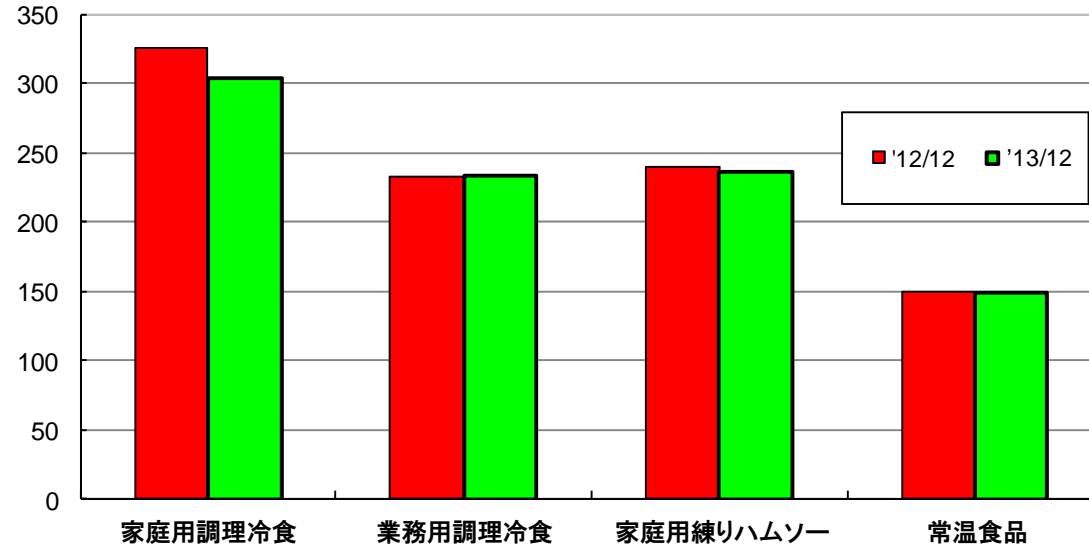
売上高(月別)

(単位:億円)



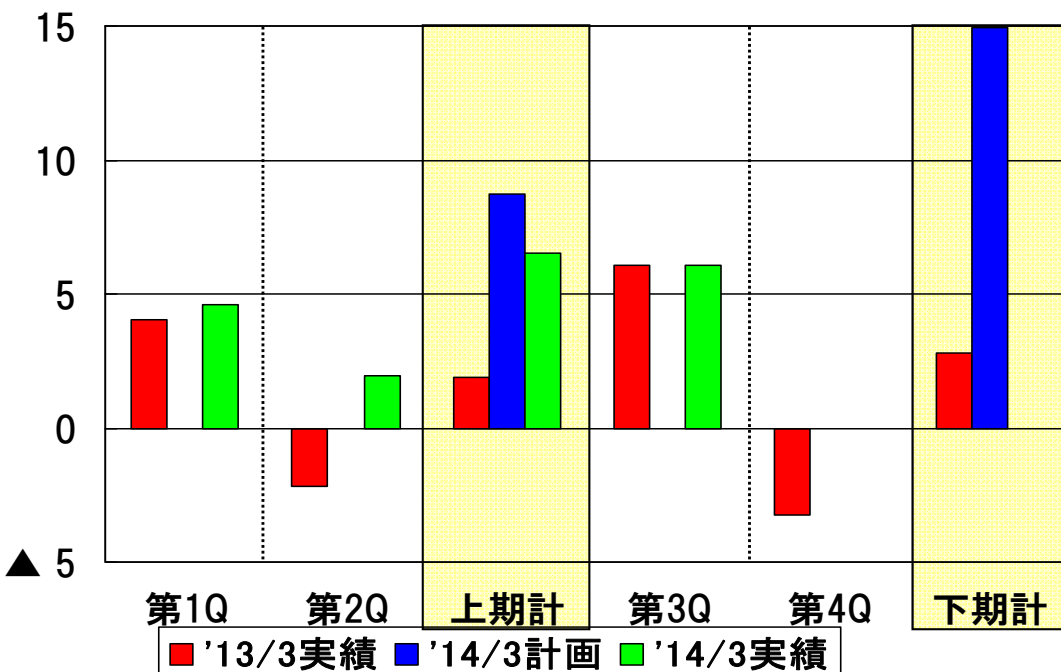
カテゴリー別 売上高(前年同期比)

(単位:億円)



営業利益(四半期別)

(単位:億円)



- ・為替の影響による原材料コストアップ 22億円
- ・コストダウン、価格改定の効果 33億円 (販管費含む)



※ ■ '14/3計画については、当初計画を変えておりません

◆ 増収増益。機能性食品の販売が寄与

(単位:億円)

	2014年3月期 第3四半期	2013年3月期 第3四半期	増減
売上高	215	208	7
営業利益	58	56	1

【第3四半期総括】

- 医薬原料は前年同期並みで推移
(但し、一部前倒し販売を含む)
- 機能性食品は通信販売が引き続き好調に推移しているものの、やや伸びが鈍る

【第4四半期打ち手】

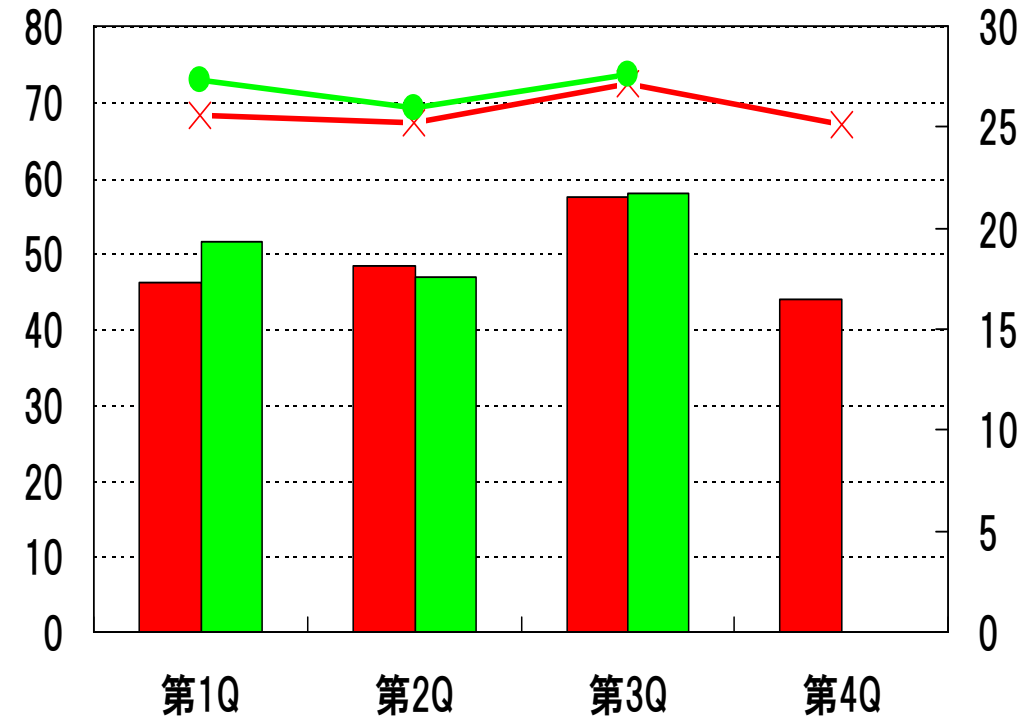
- 生産性向上の取り組み継続
- EPA認知度アップの取り組みを強化
- 機能性食品 新商品「SPORTS EPA」を販売開始
- 次年度、薬価改定への備え



売上高・営業利益(四半期別)

(単位:億円)

左軸(折れ線グラフ):売上高 右軸(棒グラフ):営業利益



■ '13/3営業利益 ■ '14/3営業利益 -x- '13/3売上 ● '14/3売上

◆ 売上高・利益とも、ほぼ前年並みを維持

(単位:億円)

	2014年3月期 第3四半期	2013年3月期 第3四半期	増減
売上高	106	101	4
営業利益	13	15	▲1

【第3四半期総括】

- 新規の共同配送事業により増収
- 冷蔵倉庫事業は貨物取扱量が減少

【第4四半期打ち手】

- 冷蔵倉庫事業において入庫量の増加に努め
在庫量の底上げを図る

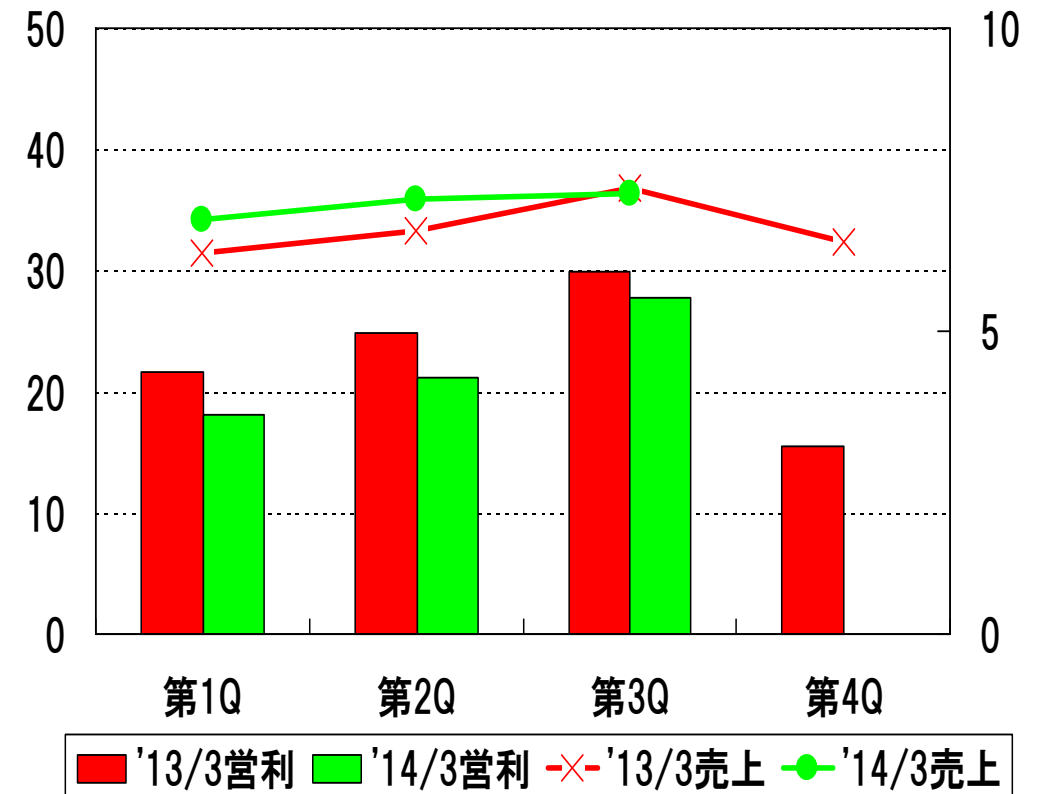


【日水物流(株)東京物流センター】
屋上に太陽光パネルを敷設し、
発電事業を開始

売上高・営業利益(四半期別)

(単位:億円)

左軸(折れ線グラフ):売上高 右軸(棒グラフ):営業利益



第3四半期決算は概ね順調に推移しましたが、為替や国内の家庭用冷凍食品の販売動向、チリの鮭鱒養殖事業における在池魚の時価評価がまだ確定していないこともあり、年間の見通しについては変更しておりません。

連結

(単位:億円)

	2014年3月期 第3四半期実績	売上高比	2014年3月期 年間公表値	売上高比	進捗率
売上高	4,486		5,820		77.1%
営業利益	116	2.6%	125	2.1%	93.4%
経常利益	112	2.5%	115	2.0%	97.9%
当期純利益	58	1.3%	60	1.0%	97.5%

個別

(単位:億円)

	2014年3月期 第3四半期実績	売上高比	2014年3月期 年間公表値	売上高比	進捗率
売上高	2,577		3,330		
営業利益	29	1.2%	25	0.8%	119.3%
経常利益	31	1.2%	45	1.4%	70.1%
当期純利益	29	1.1%	40	1.2%	73.9%

■ 予算レート US\$1=95円

連結損益計算書(前年同期比)

(単位:億円)

	2014年3月期 第3四半期 売上高比 実績		2013年3月期 第3四半期 売上高比 実績		増減	増減率
売上高	4,486		4,225		261	6.2%
売上総利益	944	21.0%	930	22.0%	13	1.4%
販売費・一般管理費	827		854		▲27	
営業利益	116	2.6%	76	1.8%	40	53.6%
営業外収益	31		25		6	
営業外費用	35		39		▲3	
経常利益	112	2.5%	61	1.5%	51	82.8%
特別利益	20		11		8	
特別損失	21		15		5	
税金等調整前四半期純利益	111	2.5%	57	1.4%	53	
法人税等	39		35		4	
法人税等調整額	4		3		1	
少数株主損益調整前四半期純利益	66		18		47	
少数株主利益(▲損失)	8		▲3		11	
四半期純利益	58	1.3%	22	0.5%	36	160.6%

主な増減要因

【販売費・一般管理費】

(▲)主にニッスイ個別のPersonnel費、販売費、管理費の削減努力によるコストダウン等

【営業外収益・費用】

為替差損益が約8億円好転

主な内訳

【特別利益・損失】

- 固定資産売却益 約14億円
- 関係会社売却損 約15億円

連結貸借対照表(前期末比)

流動資産 2,338 (+322)	流動負債 2,255 (+232)
	固定負債 <u>1,510</u> (▲43)
固定資産 <u>2,235</u> (+10)	純資産 <u>807</u> (+143)
総資産 <u>4,573</u> (+332)	うち自己資本 <u>662</u> (+134) <i>自己資本比率 14.5%</i>

(単位:億円)

主な増減要因					
資産	+332	流動資産	+322	受取手形及び売掛金	+165
				商品及び製品	+69
				仕掛品	+45
				原材料及び貯蔵品	▲33
				その他	+52
		固定資産	+10	有形固定資産	▲44
				無形固定資産	▲14
				投資その他の資産	+69
負債	+188	流動負債	+232	支払手形及び買掛金	+58
				短期借入金	+187
		固定負債	▲43	長期借入金	▲62
				退職給付引当金	+12
		純資産	+143	利益剰余金	+58
				その他有価証券評価差額金	+25
				為替換算調整勘定	+51

自己資本比率 '13/3 12.5% → '13/12 14.5%

()内の数字は前期末比増減

連結キャッシュ・フロー計算書(前年同期比)



(単位: 億円)

	2014年3月期 第3四半期	2013年3月期 第3四半期	増減	内訳	2014年3月期 第3四半期	2013年3月期 第3四半期	増減
営業活動によるCF	42	1	41	税金等調整前当期純利益	111	57	53
				減価償却費	120	120	▲0
				貸倒引当金の増減額	▲22	▲4	▲17
				退職給付引当金の増減額	0	16	▲15
				支払利息	25	27	▲2
				運転資本の増減額	▲117	▲80	▲37
				利息の支払額	▲24	▲25	1
				法人税等の支払額	▲47	▲43	▲3
投資活動によるCF	▲124	▲172	47	その他	▲20	▲76	56
				有形固定資産の取得による支出	▲95	▲128	33
				有形固定資産の売却による収入	33	24	8
				投資有価証券の取得による支出	▲48	▲34	▲13
				投資有価証券の売却による収入	23	15	7
				連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得支出	—	▲15	15
財務活動によるCF	111	160	▲49	短期貸付金の増減額	▲38	▲44	6
				短期借入金の増減額	247	104	142
				長期借入れによる収入	86	354	▲267
				長期借入金の返済による支出	▲214	▲275	60
現金等の期末残高	218	140	77	配当金の支払額	—	▲13	13

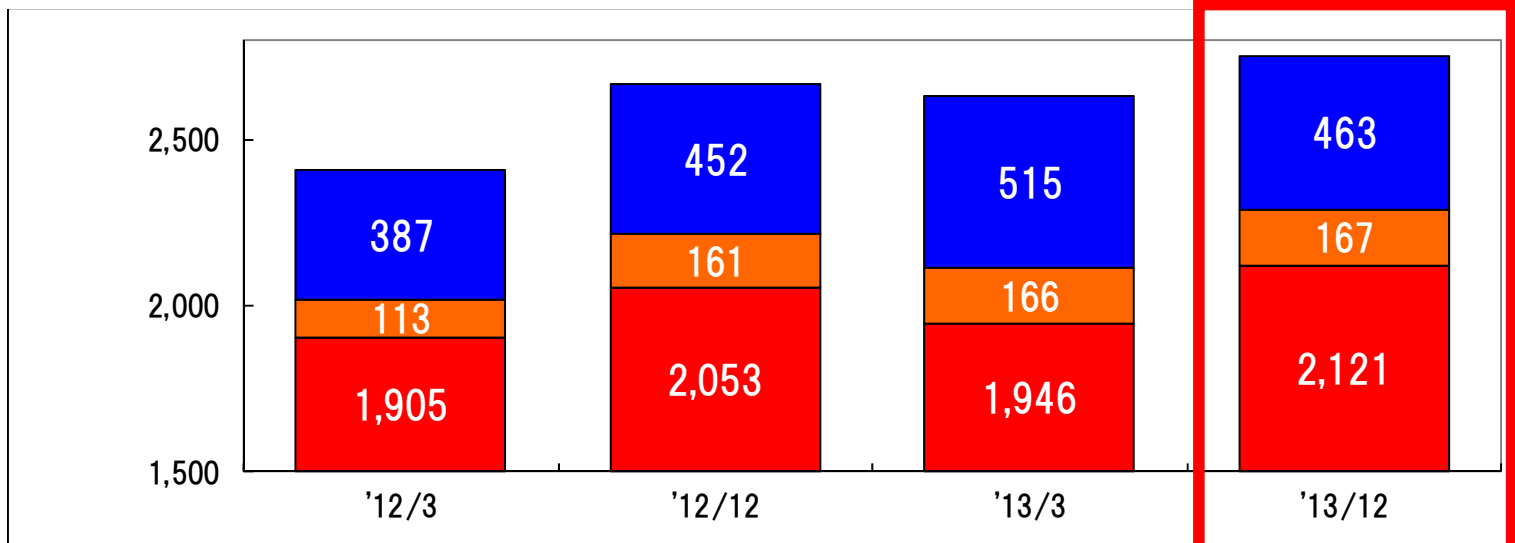
※営業活動によるCFの「その他」には賞与引当金の減少額、未収入金の増加額等が含まれる。

連結借入金・純金利負担



(単位: 億円)

- 海外関係会社
- 国内関係会社
- ニッスイ個別



前期末
比増減

▲52

+1

+175

借入金合計	2,405	2,665	2,626	2,751	+125
短期借入金	1,207	1,379	1,307	1,494	+187
長期借入金	1,197	1,286	1,319	1,256	▲62
短期借入金平均利率	1.2%	1.1%	0.9%	0.7%	▲0.2%
長期借入金平均利率	1.6%	1.5%	1.4%	1.4%	+0.0%
純金利負担	18.3	15.2	18.1	14.6	
対営業利益純金利負担率	19%	20%	31%	13%	
支払利息	37.3	27.9	37.6	25.0	
受取利息	8.1	6.6	9.3	3.6	
受取配当金	10.8	6.0	10.1	6.7	
為替レート(US\$1)	@77.74(12月末)	@77.60(9月末)	@86.58(12月末)	@97.75(9月末)	

※借入金残高推移のうち、為替レート換算による増加額が前期末比で+68億円、前年同期末比で+122億円含まれている。

セグメントマトリックス 売上高(前年同期比)



(単位:億円)

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	仮計	連結調整	連結計
水産事業	1,543 (52)	274 (21)	149 (▲56)	102 (8)	332 (86)	2,403 (112)	▲542 (18)	1,860 (130)
	1,491	253	206	93	245	2,290	▲561	1,729
食品事業	2,294 (▲55)	393 (92)		68 (24)	165 (69)	2,922 (130)	▲797 (▲7)	2,124 (122)
	2,350	301		44	95	2,792	▲790	2,002
ファイン事業	228 (8)			1 (0)		229 (8)	▲14 (▲0)	215 (7)
	220			1		221	▲13	208
物流事業	171 (7)					171 (7)	▲65 (▲3)	106 (4)
	163					163	▲61	101
その他事業	210 (▲28)			1 (0)		211 (▲28)	▲32 (23)	179 (▲4)
	239			0		240	▲56	184
仮計	4,449 (▲15)	667 (113)	149 (▲56)	174 (33)	497 (156)	5,939 (230)		
	4,464	554	206	140	341	5,708		
連結調整	▲1,094 (31)	▲130 (4)	▲107 (17)	▲102 (▲19)	▲16 (▲1)		▲1,452 (30)	
	▲1,125	▲134	▲124	▲82	▲15		▲1,483	
連結計	3,354 (15)	537 (117)	41 (▲39)	71 (13)	480 (154)			4,486 (261)
	3,339	419	81	57	326			4,225

※上段は当四半期累計実績、下段は前年同期実績、右肩括弧内は増減を表わす。

※連結調整にはグループ間取引による売上高消去が含まれる。

※撤退会社及び再編会社による影響額 ▲84億円

※為替換算による売上高への影響額(試算) 311億円

セグメントマトリックス 営業利益(前年同期比)



(単位:億円)

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	全社経費	仮計	連結調整	連結計
水産事業	27 (15)	6 (▲8)	4 (29)	0 (▲0)	6 (4)		45 (40)	▲3 (▲1)	41 (39)
	11	14	▲24	0	2		4	▲2	2
食品事業	26 (6)	▲2 (▲4)		0 (0)	▲0 (1)		24 (3)	▲0 (▲0)	24 (2)
	20	2		0	▲1		21	▲0	21
ファイン事業	58 (1)			0 (0)			58 (1)	0 (0)	58 (1)
	56			0			56	▲0	56
物流事業	12 (▲1)						12 (▲1)	0 (▲0)	13 (▲1)
	14						14	1	15
その他事業	6 (▲2)			0 (0)			7 (▲2)	1 (1)	8 (▲1)
	9			0			9	▲0	9
全社経費						▲30 (▲0)	▲30 (▲0)	0 (0)	▲29 (0)
						▲30	▲30	0	▲29
仮計	132 (19)	3 (▲13)	4 (29)	1 (▲0)	5 (5)	▲30 (▲0)	118 (41)		
	112	17	▲24	1	0	▲30	77		
連結調整	3 (6)	0 (▲0)	▲1 (▲7)	0 (0)	▲4 (▲0)	▲0 (0)		▲1 (▲0)	
	▲2	0	5	▲0	▲3	▲0		▲1	
連結計	135 (26)	4 (▲13)	3 (22)	2 (0)	1 (5)	▲30 (0)			116 (40)
	109	17	▲19	1	▲3	▲30			76

※上段は当四半期累計実績、下段は前年同期実績、右肩括弧内は増減を表わす。
 ※連結調整にはのれん償却、たな卸資産の未実現利益等が含まれる。

個別損益計算書(前年同期比)



(単位:億円)

	2014年3月期 第3四半期 売上高比 実績		2013年3月期 第3四半期 売上高比 実績		増減	増減率
売上高	2,577		2,569		7	0.3%
売上総利益	511	19.8%	511	19.9%	▲0	▲0.0%
販売費・一般管理費	481		512		▲30	
営業利益(▲損失)	29	1.2%	▲0	▲0.0%	30	
営業外収益	26		28		▲1	
営業外費用	25		32		▲6	
経常利益(▲損失)	31	1.2%	▲4	▲0.2%	35	
特別利益	15		10		5	
特別損失	11		17		▲5	
税引前四半期純利益(▲損失)	35	1.4%	▲11	▲0.4%	46	
法人税等	1		0		1	
法人税等調整額	4		▲2		6	
四半期純利益(▲損失)	29	1.1%	▲8	▲0.3%	38	

主な増減要因

【販売費・一般管理費】

(▲)主に人件費、販売費、管理費の削減努力によるコストダウン等

【営業外収益・費用】

為替差損益が約3億円好転

主な内訳

【特別利益・損失】

- 固定資産売却益 約13億円
- 関係会社売却損 約8億円

見通しに関する注意事項

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものであり、これらの達成を保証するものではありません。

実際の業績は、様々な要因の変化により、見通し等とは大きく異なることがあります。その要因としては、市場の経済状況および製品の需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種制度や法律の改定などが含まれます。

従いまして、本資料の利用は、利用者の判断によって行いますようお願い致します。本資料の利用によって生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではないことをご認識頂きますようお願い申し上げます。

日本水産株式会社
2014年2月5日発表
証券コード：1332

お問合せ先：経営企画IR室広報IR課
03-3244-4371

<http://www.nissui.co.jp/ir/index.html>



【訂正前】



2014年3月期 第3四半期決算 決算補足資料

2014年2月5日
日本水産株式会社

◆ 前年同期比で増収増益

- ◆ 水産事業は国内の水産物市況の回復やニッスイ個別で在庫圧縮を進めたこと、海外では事業再編や魚価回復による鮭鱒養殖事業の収支改善などにより増収増益
- ◆ 食品事業は国内で円安による輸入品コスト高の影響を、生産性向上や販売経費削減、販売価格改定などにより一部をカバー、海外は地域によりみだら模様
- ◆ 海外の不振事業に一定の目途
 - 山東山孚日水(中国:水産品・冷凍食品の製造・販売)は出資金を持分比率14.89%まで譲渡。(売却損 ▲7.8億円)
 - Sealordグループ(ニュージーランド:持分法適用会社)はアルゼンチン子会社全株式を売却し、アルゼンチン事業から撤退。(撤退に伴う当社の損失負担額 ▲15.1億円)
 - ロヒタム(ドイツ:冷凍食品の製造・販売)は事業譲渡完了。(第2四半期までに大半の特別損失を織り込み済み)

◆ 水産事業は増収増益、食品事業は増収であるが利益は前年並み

(単位:億円)

	2014年3月期 第3四半期	2013年3月期 第3四半期	増減
売上高	4,486	4,225	261
水産事業	1,860	1,729	130
食品事業	2,124	2,002	122
ファインケミカル事業	215	208	7
物流事業	106	101	4
その他	179	184	▲ 4
営業利益	116	76	40
水産事業	41	2	39
食品事業	24	21	2
ファインケミカル事業	58	56	1
物流事業	13	15	▲ 1
その他	8	9	▲ 1
全社経費	▲ 29	▲ 29	0
経常利益	112	61	51
当期純利益	58	22	36

◆ 全体で増収増益。特に国内と南米の利益が改善

(単位:億円)

	2014年3月期 第3四半期	2013年3月期 第3四半期	増減
売上高	1,860	1,729	130
営業利益	41	2	39

【第3四半期総括】

- 国内は鮭鱒、えびを中心に水産物市況が回復し、ぶり養殖事業も好調に推移
- ニッスイ個別で在庫圧縮
- 北米は助子の生産量減少、助子・すりみ価格下落などにより減益
- 南米は漁撈事業の縮小・撤退により減収となるが利益は改善
- ヨーロッパは販売エリアの拡大もあり増収

【第4四半期打ち手】

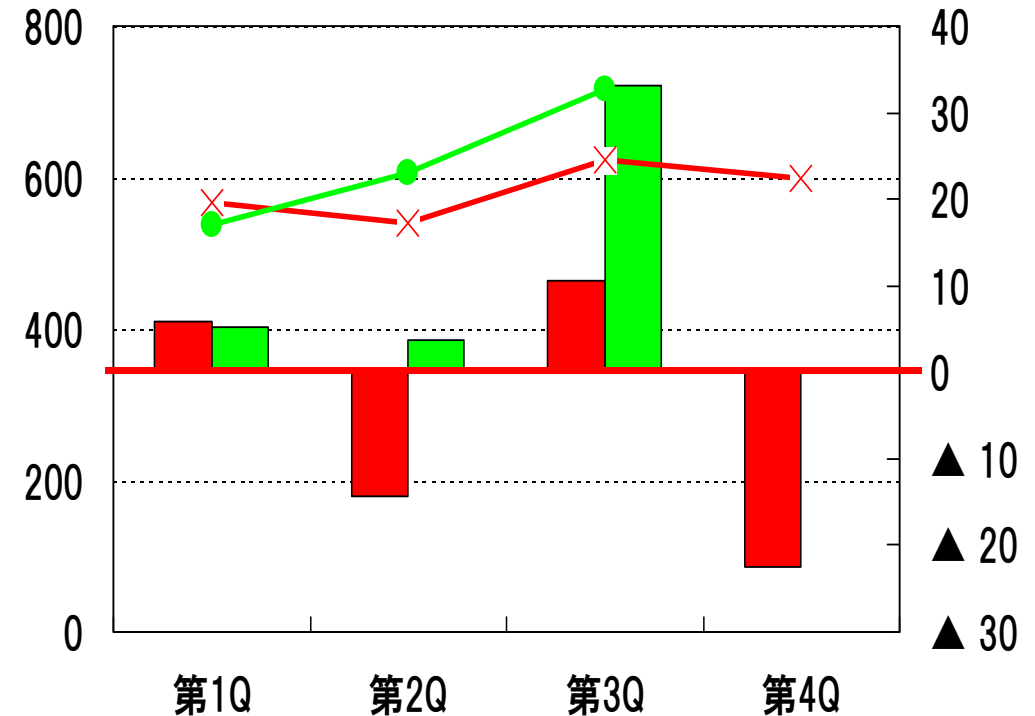
- 国内は在庫コントロールを継続するとともに養殖技術の進化を目指す
- 食材化・惣菜化を推進し成長を目指す
- 海外は効率的な操業、養殖により利益確保に努める

売上高・営業利益(四半期別)

(単位:億円)

左軸(折れ線グラフ):売上高

右軸(棒グラフ):営業利益



■ '13/3営業利益 ■ '14/3営業利益 -x- '13/3売上 ● '14/3売上



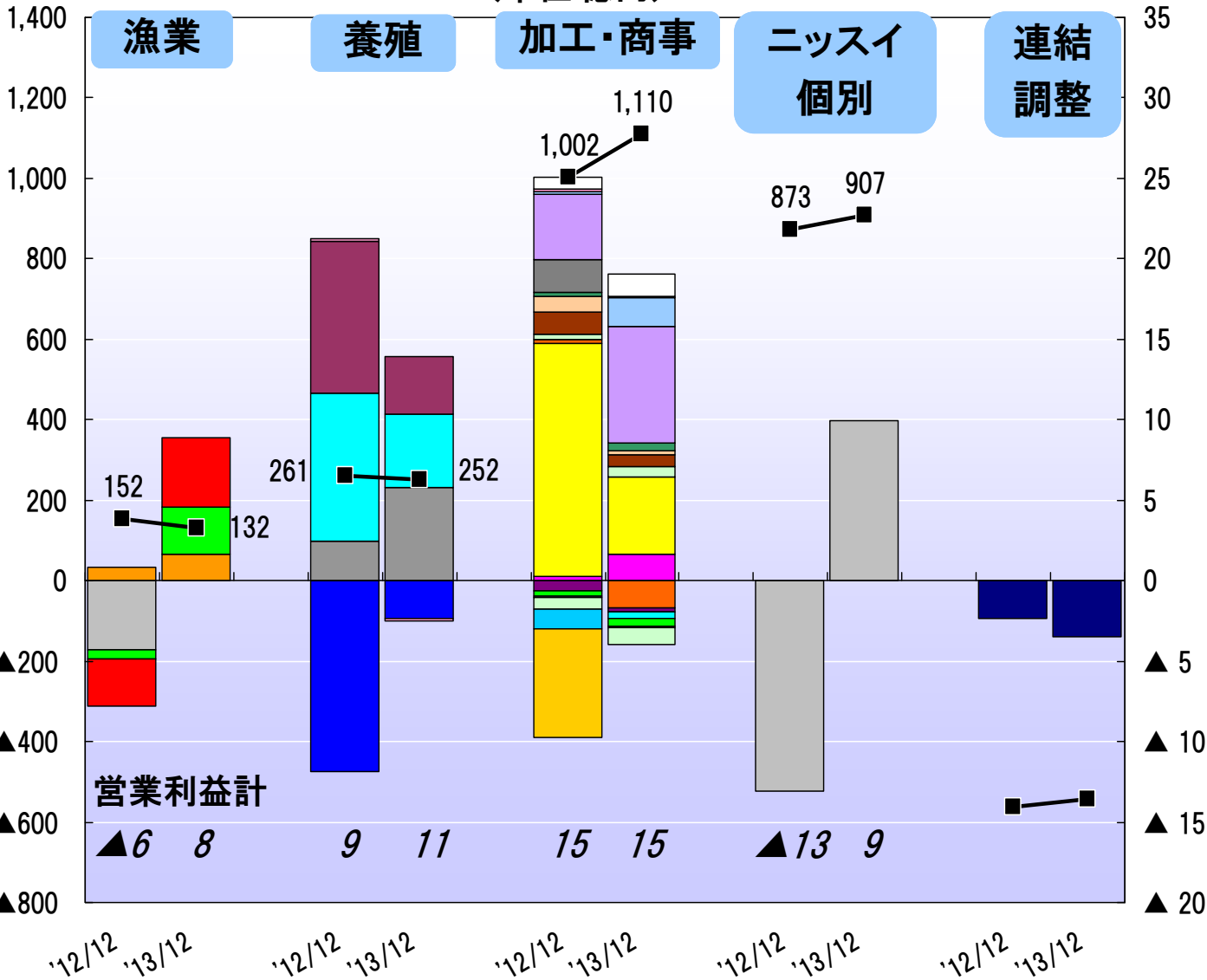
水産事業 売上高・営業利益(前年同期比)



左軸(折れ線グラフ):売上高

(単位:億円)

右軸(棒グラフ):営業利益



主な増減要因

【漁業】

- 南米の漁撈事業は事業再編・撤退などにより前期赤字分が改善、効率的な操業を行う

【養殖】

- 国内養殖事業は、ぶりが魚価・数量共に好調、まぐろは魚価下落、数量減少
- チリの鮭鱒養殖事業は魚病の影響で原価コストが上昇したが、魚価が上昇し利益は大幅に改善

【加工・商事】

- アメリカのすけそうだら事業は、すりみ・フィレは数量増、助子は数量減、価格は全体で下落
- ブラジルのティラピア養殖・加工からは撤退

【ニッスイ個別】

- 在庫圧縮
- 水産物市況が回復し、特に鮭鱒、えびの販売価格が上昇

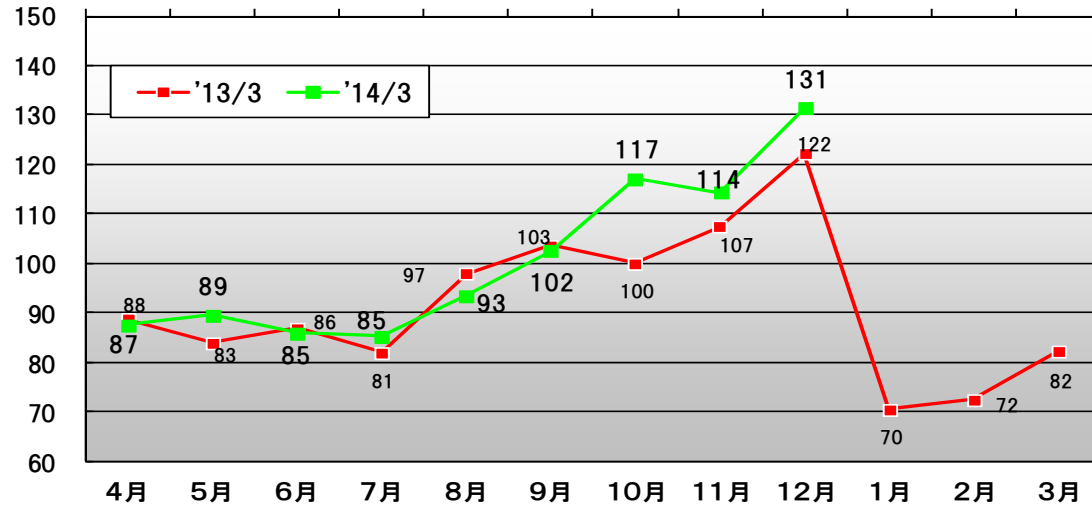
※漁業、養殖、加工・商事のグラフは連結子会社の合計を記載
 ※グラフ下部の斜体数値は機能別 営業利益合計数値
 ※営業利益の連結調整にはのれん償却、たな卸資産の未実現利益等が含まれる

水産事業 ニッセイ個別(前年同期比)



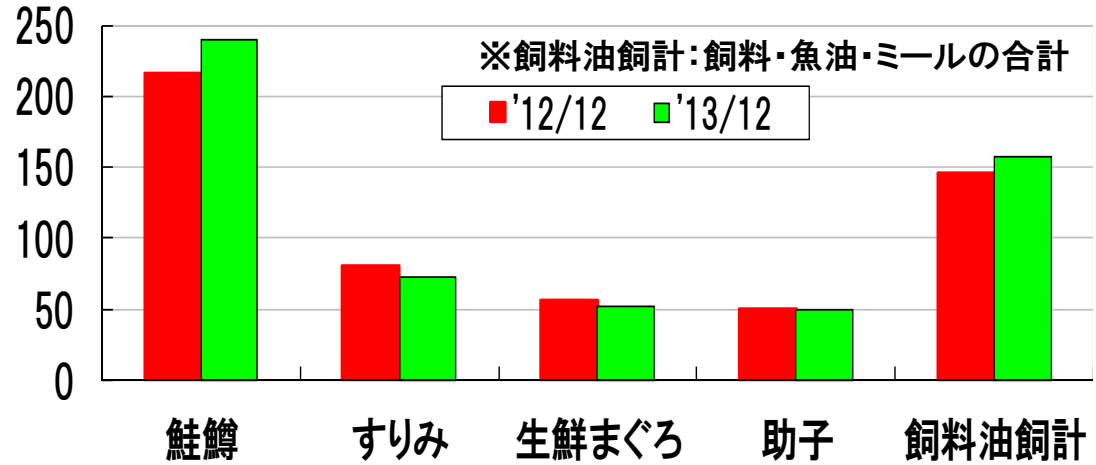
売上高(月別)

(単位:億円)



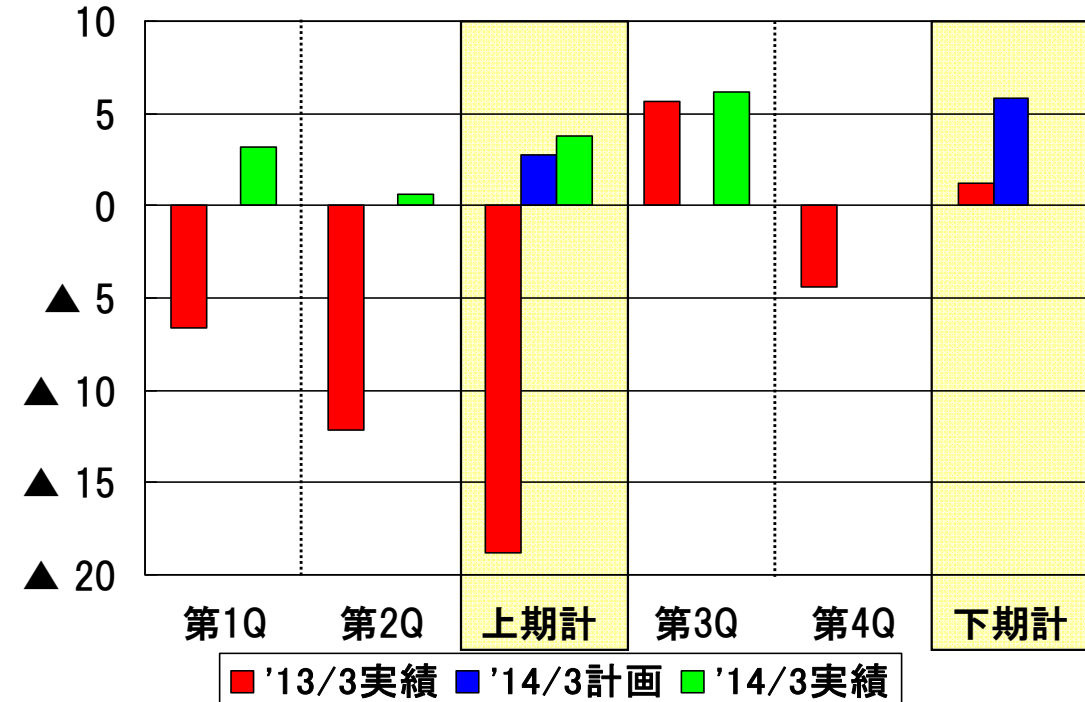
主要魚種別 売上高(前年同期比)

(単位:億円)



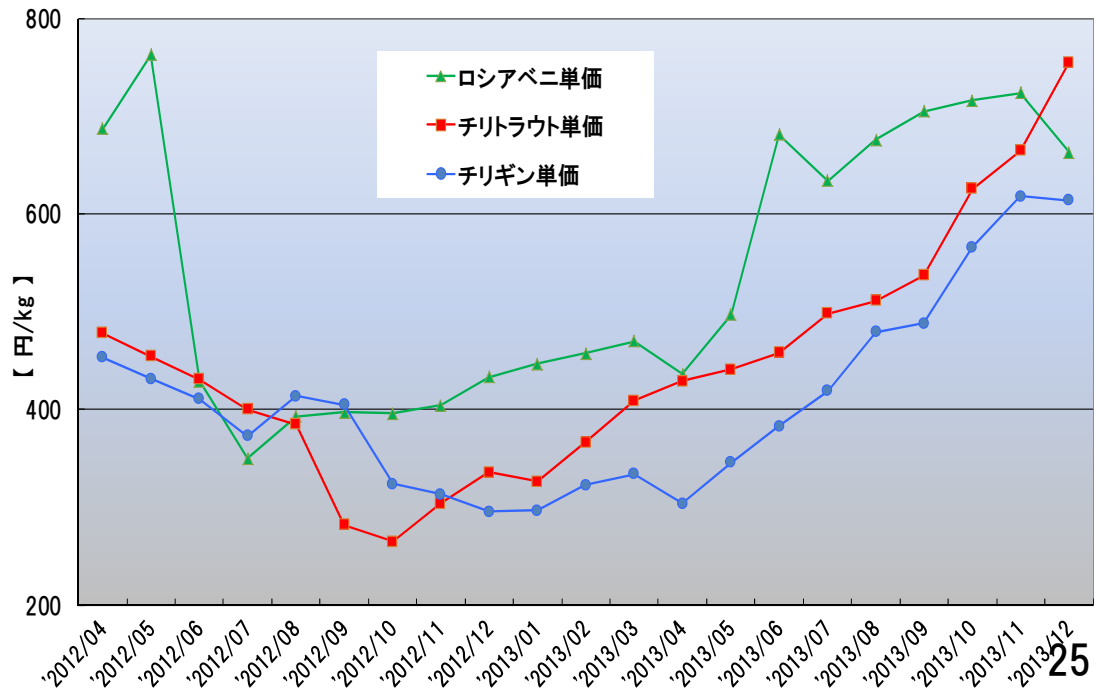
営業利益(四半期別)

(単位:億円)



※ ■ '14/3計画については、当初計画を変えておりません

水産物市況 鮭鱒(財務省貿易統計より算出)



◆ 増収であるが利益はほぼ横ばい。国内は減収増益、海外は円安効果もあり増収だが減益

(単位:億円)

	2014年3月期 第3四半期	2013年3月期 第3四半期	増減
売上高	2,124	2,002	122
営業利益	24	21	2

【第3四半期総括】

- 国内はニッスイ個別、チルド事業が減収となったものの、生産性向上や販売経費削減などの取り組みが進み増益
- 海外は為替の影響もあり増収となったが、北米が苦戦し減益。ヨーロッパは順調に推移

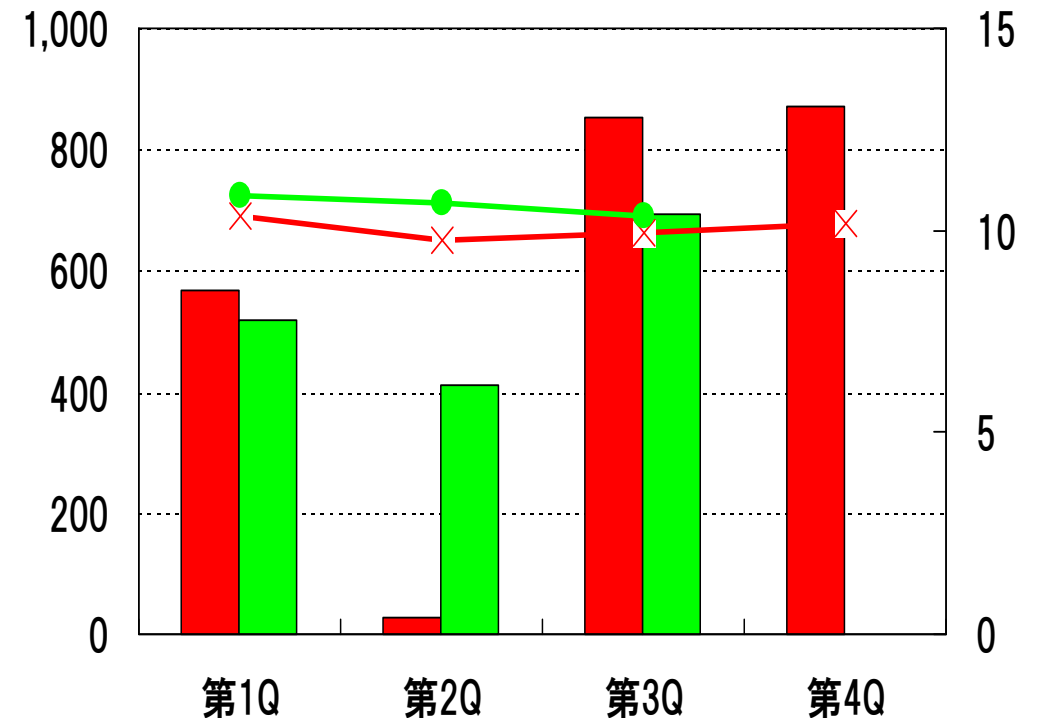
【第4四半期打ち手】

- 国内は生産性向上、販売経費削減などのコストダウン、販売価格改定努力を継続
- 家庭用冷凍食品の販売促進
- 全温度帯の惣菜化の推進と水産と一体となった販売強化

売上高・営業利益(四半期別)

(単位:億円)

左軸(折れ線グラフ):売上高 右軸(棒グラフ):営業利益



■ '13/3営業利益 ■ '14/3営業利益 -x- '13/3売上 ● '14/3売上



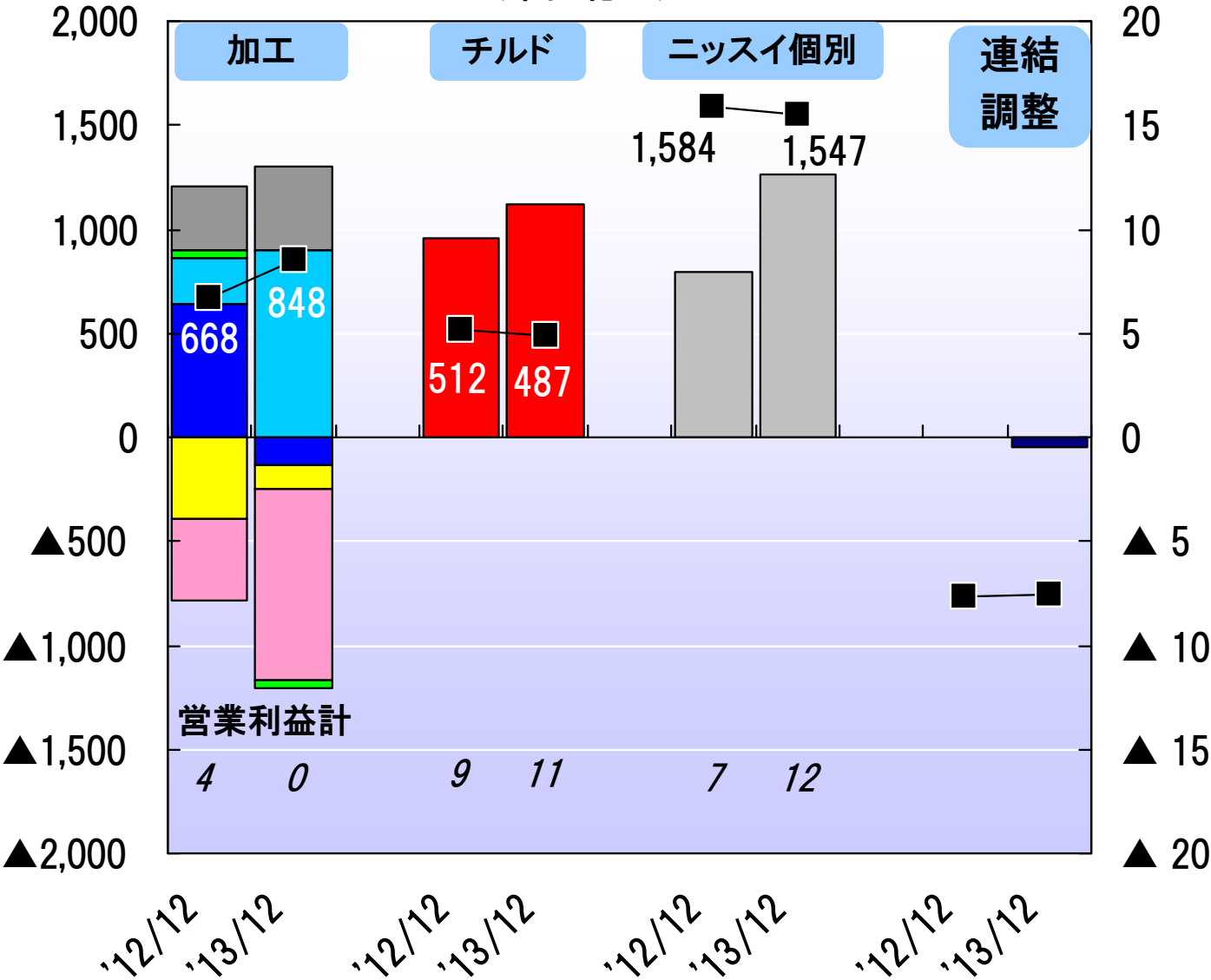
食品事業 売上高・営業利益(前年同期比)



左軸(折れ線グラフ):売上高

(単位:億円)

右軸(棒グラフ):営業利益



主な増減要因

【加工】

- フランスの水産食品会社は新商品投入、生産能力増強が寄与。ドイツの冷凍食品会社は7月末に売却完了
- 北米の冷凍食品会社は厳しい価格競争があり減益

【チルド】

- 生産品目の見直しにより減収となるが、生産性の改善などにより増益

【ニッスイ個別】

- 円安による輸入原材料・製品のコスト高の影響があったが、生産性向上、販売経費削減などのコストダウン、販売価格改定などに取り組み増益

※加工、チルドは連結子会社の合計を記載

※グラフ下部の斜体数値は機能別合計数値

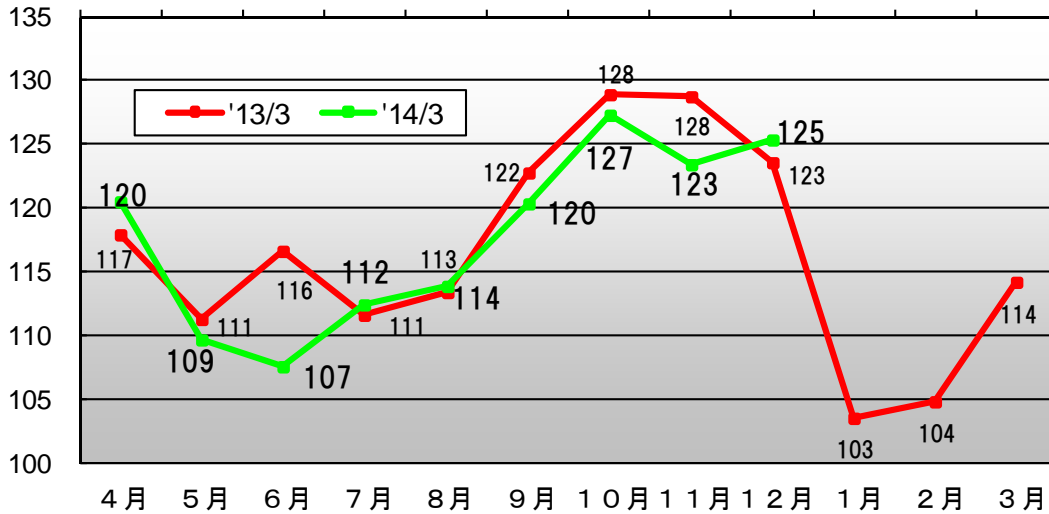
※営業利益の連結調整にはのれん償却、たな卸資産の未実現利益等が含まれる

食品事業 ニッスイ個別(前年同期比)



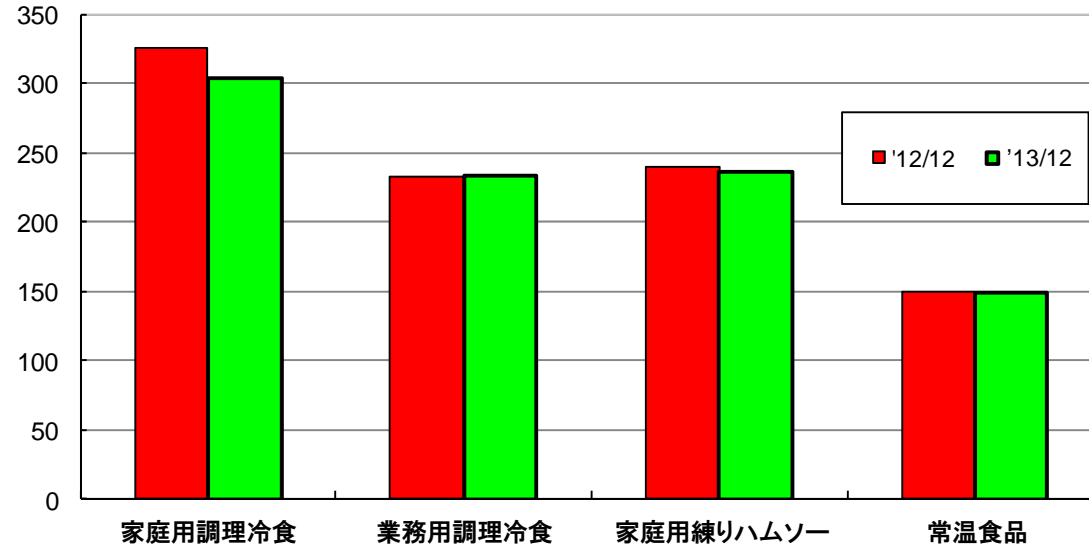
売上高(月別)

(単位:億円)



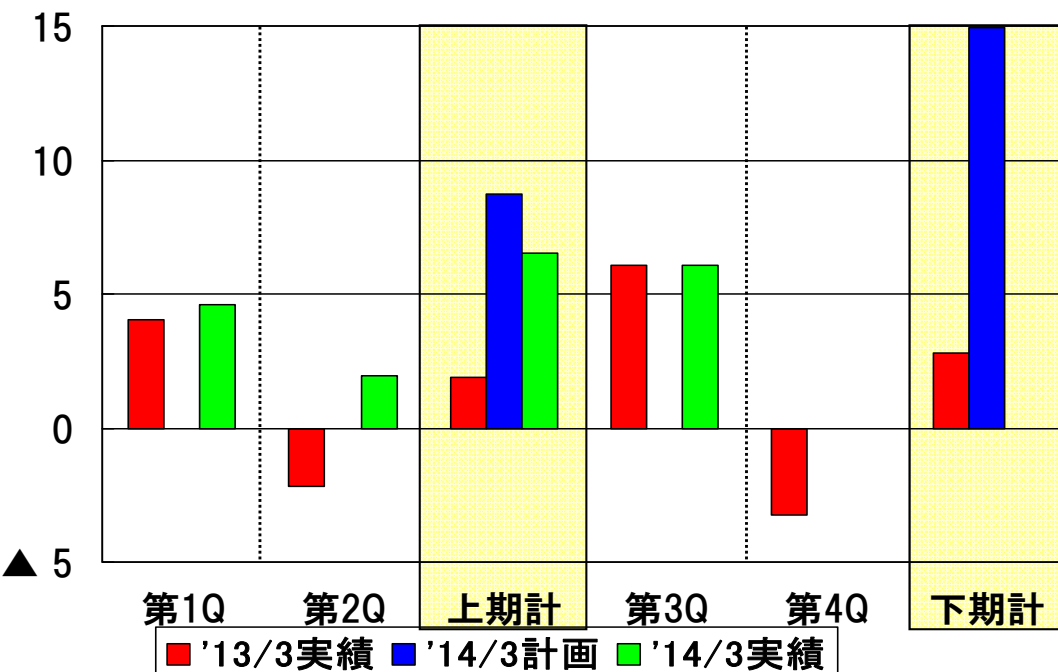
カテゴリー別 売上高(前年同期比)

(単位:億円)



営業利益(四半期別)

(単位:億円)



- ・為替の影響による原材料コストアップ 22億円
- ・コストダウン、価格改定の効果 33億円 (販管費含む)



※ ■ '14/3計画については、当初計画を変えておりません

◆ 増収増益。機能性食品の販売が寄与

(単位:億円)

	2014年3月期 第3四半期	2013年3月期 第3四半期	増減
売上高	215	208	7
営業利益	58	56	1

【第3四半期総括】

- 医薬原料は前年同期並みで推移
(但し、一部前倒し販売を含む)
- 機能性食品は通信販売が引き続き好調に推移しているものの、やや伸びが鈍る

【第4四半期打ち手】

- 生産性向上の取り組み継続
- EPA認知度アップの取り組みを強化
- 機能性食品 新商品「SPORTS EPA」を販売開始
- 次年度、薬価改定への備え

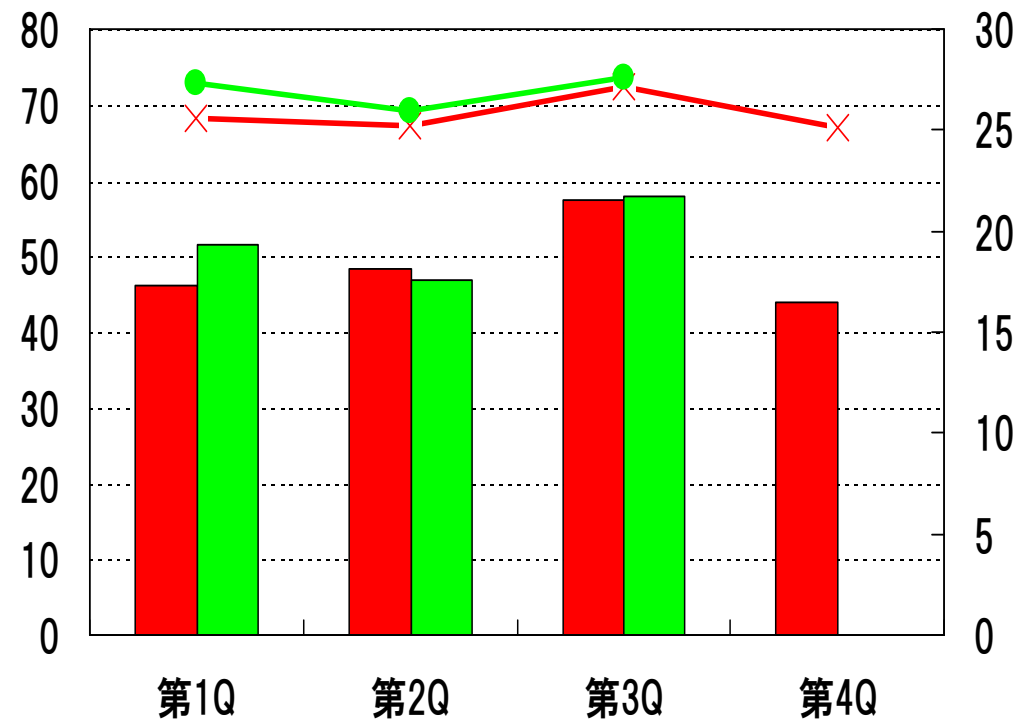


売上高・営業利益(四半期別)

(単位:億円)

左軸(折れ線グラフ):売上高

右軸(棒グラフ):営業利益



■ '13/3営業利益 ■ '14/3営業利益 -x- '13/3売上 ● '14/3売上

◆ 売上高・利益とも、ほぼ前年並みを維持

(単位:億円)

	2014年3月期 第3四半期	2013年3月期 第3四半期	増減
売上高	106	101	4
営業利益	13	15	▲ 1

【第3四半期総括】

- 新規の共同配送事業により増収
- 冷蔵倉庫事業は貨物取扱量が減少

【第4四半期打ち手】

- 冷蔵倉庫事業において入庫量の増加に努め
在庫量の底上げを図る

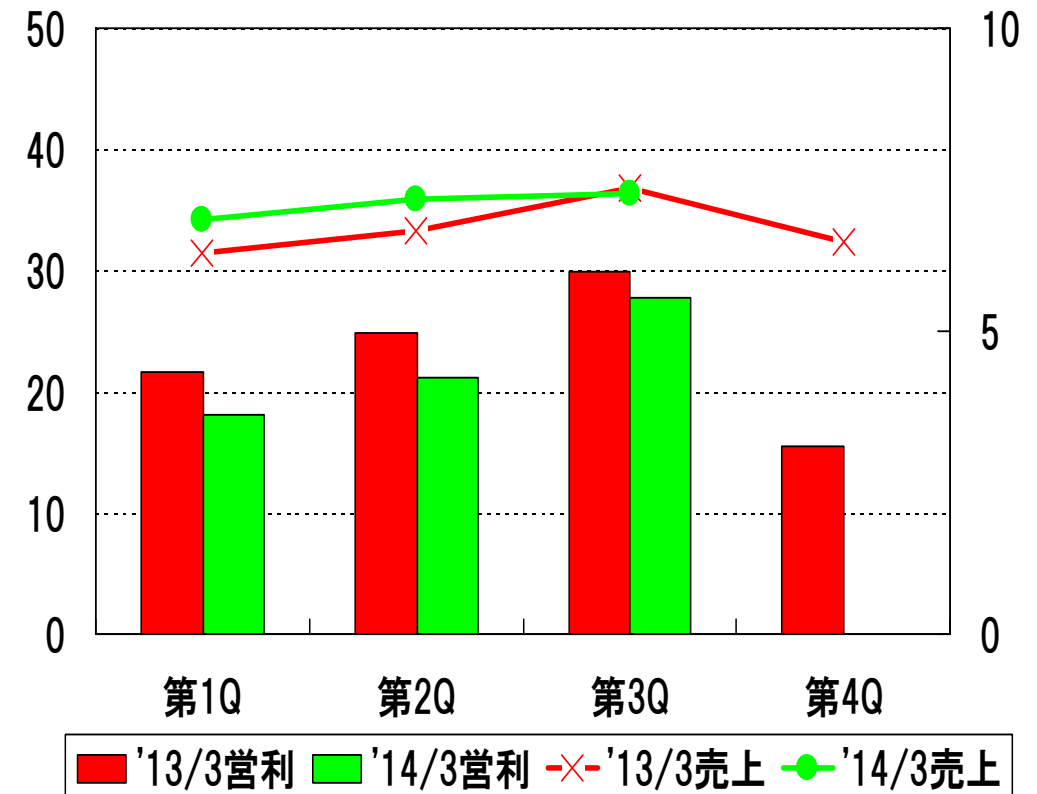


【日水物流(株)東京物流センター】
屋上に太陽光パネルを敷設し、
発電事業を開始

売上高・営業利益(四半期別)

(単位:億円)

左軸(折れ線グラフ):売上高 右軸(棒グラフ):営業利益



第3四半期決算は概ね順調に推移しましたが、為替や国内の家庭用冷凍食品の販売動向、チリの鮭鱒養殖事業における在池魚の時価評価がまだ確定していないこともあり、年間の見通しについては変更しておりません。

連結

(単位:億円)

	2014年3月期 第3四半期実績	売上高比	2014年3月期 年間公表値	売上高比	進捗率
売上高	4,486		5,820		77.1%
営業利益	116	2.6%	125	2.1%	93.4%
経常利益	112	2.5%	115	2.0%	97.9%
当期純利益	58	1.3%	60	1.0%	97.5%

個別

(単位:億円)

	2014年3月期 第3四半期実績	売上高比	2014年3月期 年間公表値	売上高比	進捗率
売上高	2,577		3,330		
営業利益	29	1.2%	25	0.8%	119.3%
経常利益	31	1.2%	45	1.4%	70.1%
当期純利益	29	1.1%	40	1.2%	73.9%

■ 予算レート US\$1=95円

連結損益計算書(前年同期比)

(単位:億円)

	2014年3月期 第3四半期 売上高比 実績		2013年3月期 第3四半期 売上高比 実績		増減	増減率
売上高	4,486		4,225		261	6.2%
売上総利益	944	21.0%	930	22.0%	13	1.4%
販売費・一般管理費	827		854		▲27	
営業利益	116	2.6%	76	1.8%	40	53.6%
営業外収益	31		25		6	
営業外費用	35		39		▲3	
経常利益	112	2.5%	61	1.5%	51	82.8%
特別利益	20		11		8	
特別損失	21		15		5	
税金等調整前四半期純利益	111	2.5%	57	1.4%	53	
法人税等	39		35		4	
法人税等調整額	4		3		1	
少数株主損益調整前四半期純利益	66		18		47	
少数株主利益(▲損失)	8		▲3		11	
四半期純利益	58	1.3%	22	0.5%	36	160.6%

主な増減要因

【販売費・一般管理費】

(▲)主にニッスイ個別のPersonnel費、販売費、管理費の削減努力によるコストダウン等

【営業外収益・費用】

為替差損益が約8億円好転

主な内訳

【特別利益・損失】

- 固定資産売却益 約14億円
- 関係会社売却損 約15億円

連結貸借対照表(前期末比)

流動資産 2,338 (+322)	流動負債 2,255 (+232)
	固定負債 1,521 (▲38)
固定資産 2,211 (+10)	純資産 772 (+139)
総資産 4,549 (+333)	うち自己資本 627 (+130) <i>自己資本比率 13.8%</i>

(単位:億円)

主な増減要因					
資産	+333	流動資産	+322	受取手形及び売掛金	+165
				商品及び製品	+69
				仕掛品	+45
				原材料及び貯蔵品	▲33
				その他	+52
		固定資産	+10	有形固定資産	▲44
				無形固定資産	▲14
				投資その他の資産	+70
負債	+193	流動負債	+232	支払手形及び買掛金	+58
				短期借入金	+187
		固定負債	▲38	長期借入金	▲62
				退職給付引当金	+12
		純資産	+139	利益剰余金	+58
				その他有価証券評価差額金	+25
				為替換算調整勘定	+47

自己資本比率 '13/3 11.8% → '13/12 13.8%

()内の数字は前期末比増減

連結キャッシュ・フロー計算書(前年同期比)



(単位: 億円)

	2014年3月期 第3四半期	2013年3月期 第3四半期	増減	内訳	2014年3月期 第3四半期	2013年3月期 第3四半期	増減
営業活動によるCF	42	1	41	税金等調整前当期純利益	111	57	53
				減価償却費	120	120	▲0
				貸倒引当金の増減額	▲22	▲4	▲17
				退職給付引当金の増減額	0	16	▲15
				支払利息	25	27	▲2
				運転資本の増減額	▲117	▲80	▲37
				利息の支払額	▲24	▲25	1
				法人税等の支払額	▲47	▲43	▲3
投資活動によるCF	▲124	▲172	47	その他	▲20	▲76	56
				有形固定資産の取得による支出	▲95	▲128	33
				有形固定資産の売却による収入	33	24	8
				投資有価証券の取得による支出	▲48	▲34	▲13
				投資有価証券の売却による収入	23	15	7
				連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得支出	—	▲15	15
財務活動によるCF	111	160	▲49	短期貸付金の増減額	▲38	▲44	6
				短期借入金の増減額	247	104	142
				長期借入れによる収入	86	354	▲267
				長期借入金の返済による支出	▲214	▲275	60
現金等の期末残高	218	140	77	配当金の支払額	—	▲13	13

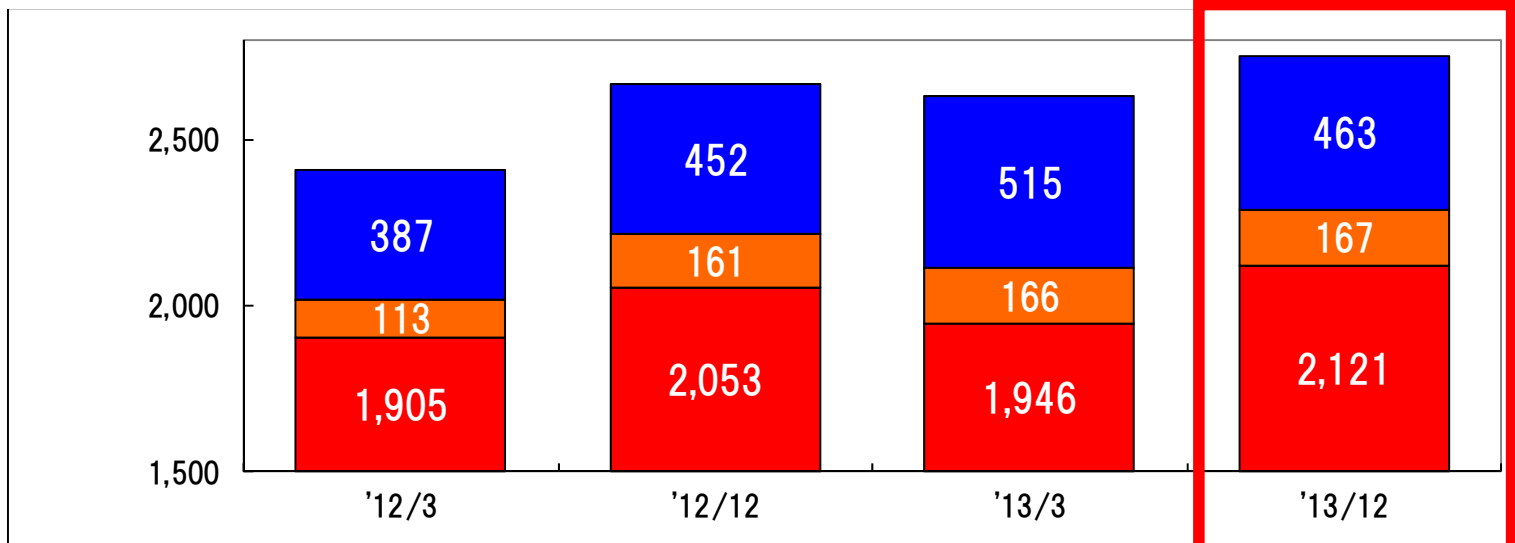
※営業活動によるCFの「その他」には賞与引当金の減少額、未収入金の増加額等が含まれる。

連結借入金・純金利負担



(単位: 億円)

- 海外関係会社
- 国内関係会社
- ニッスイ個別



前期末
比増減

▲52

+1

+175

借入金合計	2,405	2,665	2,626	2,751	+125
短期借入金	1,207	1,379	1,307	1,494	+187
長期借入金	1,197	1,286	1,319	1,256	▲62
短期借入金平均利率	1.2%	1.1%	0.9%	0.7%	▲0.2%
長期借入金平均利率	1.6%	1.5%	1.4%	1.4%	+0.0%
純金利負担	18.3	15.2	18.1	14.6	
対営業利益純金利負担率	19%	20%	31%	13%	
支払利息	37.3	27.9	37.6	25.0	
受取利息	8.1	6.6	9.3	3.6	
受取配当金	10.8	6.0	10.1	6.7	
為替レート(US\$1)	@77.74(12月末)	@77.60(9月末)	@86.58(12月末)	@97.75(9月末)	

※借入金残高推移のうち、為替レート換算による増加額が前期末比で+68億円、前年同期末比で+122億円含まれている。

セグメントマトリックス 売上高(前年同期比)



(単位:億円)

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	仮計	連結調整	連結計
水産事業	1,543 (52)	274 (21)	149 (▲56)	102 (8)	332 (86)	2,403 (112)	▲542 (18)	1,860 (130)
	1,491	253	206	93	245	2,290	▲561	1,729
食品事業	2,294 (▲55)	393 (92)		68 (24)	165 (69)	2,922 (130)	▲797 (▲7)	2,124 (122)
	2,350	301		44	95	2,792	▲790	2,002
ファイン事業	228 (8)			1 (0)		229 (8)	▲14 (▲0)	215 (7)
	220			1		221	▲13	208
物流事業	171 (7)					171 (7)	▲65 (▲3)	106 (4)
	163					163	▲61	101
その他事業	210 (▲28)			1 (0)		211 (▲28)	▲32 (23)	179 (▲4)
	239			0		240	▲56	184
仮計	4,449 (▲15)	667 (113)	149 (▲56)	174 (33)	497 (156)	5,939 (230)		
	4,464	554	206	140	341	5,708		
連結調整	▲1,094 (31)	▲130 (4)	▲107 (17)	▲102 (▲19)	▲16 (▲1)		▲1,452 (30)	
	▲1,125	▲134	▲124	▲82	▲15		▲1,483	
連結計	3,354 (15)	537 (117)	41 (▲39)	71 (13)	480 (154)			4,486 (261)
	3,339	419	81	57	326			4,225

※上段は当四半期累計実績、下段は前年同期実績、右肩括弧内は増減を表わす。

※連結調整にはグループ間取引による売上高消去が含まれる。

※撤退会社及び再編会社による影響額 ▲84億円

※為替換算による売上高への影響額(試算) 311億円

セグメントマトリックス 営業利益(前年同期比)



(単位:億円)

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	全社経費	仮計	連結調整	連結計
水産事業	27 (15)	6 (▲8)	4 (29)	0 (▲0)	6 (4)		45 (40)	▲3 (▲1)	41 (39)
	11	14	▲24	0	2		4	▲2	2
食品事業	26 (6)	▲2 (▲4)		0 (0)	▲0 (1)		24 (3)	▲0 (▲0)	24 (2)
	20	2		0	▲1		21	▲0	21
ファイン事業	58 (1)			0 (0)			58 (1)	0 (0)	58 (1)
	56			0			56	▲0	56
物流事業	12 (▲1)						12 (▲1)	0 (▲0)	13 (▲1)
	14						14	1	15
その他事業	6 (▲2)			0 (0)			7 (▲2)	1 (1)	8 (▲1)
	9			0			9	▲0	9
全社経費						▲30 (▲0)	▲30 (▲0)	0 (0)	▲29 (0)
						▲30	▲30	0	▲29
仮計	132 (19)	3 (▲13)	4 (29)	1 (▲0)	5 (5)	▲30 (▲0)	118 (41)		
	112	17	▲24	1	0	▲30	77		
連結調整	3 (6)	0 (▲0)	▲1 (▲7)	0 (0)	▲4 (▲0)	▲0 (0)		▲1 (▲0)	
	▲2	0	5	▲0	▲3	▲0		▲1	
連結計	135 (26)	4 (▲13)	3 (22)	2 (0)	1 (5)	▲30 (0)			116 (40)
	109	17	▲19	1	▲3	▲30			76

※上段は当四半期累計実績、下段は前年同期実績、右肩括弧内は増減を表わす。
 ※連結調整にはのれん償却、たな卸資産の未実現利益等が含まれる。

個別損益計算書(前年同期比)



(単位:億円)

	2014年3月期 第3四半期 売上高比 実績		2013年3月期 第3四半期 売上高比 実績		増減	増減率
売上高	2,577		2,569		7	0.3%
売上総利益	511	19.8%	511	19.9%	▲0	▲0.0%
販売費・一般管理費	481		512		▲30	
営業利益(▲損失)	29	1.2%	▲0	▲0.0%	30	
営業外収益	26		28		▲1	
営業外費用	25		32		▲6	
経常利益(▲損失)	31	1.2%	▲4	▲0.2%	35	
特別利益	15		10		5	
特別損失	11		17		▲5	
税引前四半期純利益(▲損失)	35	1.4%	▲11	▲0.4%	46	
法人税等	1		0		1	
法人税等調整額	4		▲2		6	
四半期純利益(▲損失)	29	1.1%	▲8	▲0.3%	38	

主な増減要因

【販売費・一般管理費】

(▲)主に人件費、販売費、管理費の削減努力によるコストダウン等

【営業外収益・費用】

為替差損益が約3億円好転

主な内訳

【特別利益・損失】

- 固定資産売却益 約13億円
- 関係会社売却損 約8億円

見通しに関する注意事項

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものであり、これらの達成を保証するものではありません。

実際の業績は、様々な要因の変化により、見通し等とは大きく異なることがあります。その要因としては、市場の経済状況および製品の需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種制度や法律の改定などが含まれます。

従いまして、本資料の利用は、利用者の判断によって行いますようお願い致します。本資料の利用によって生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではないことをご認識頂きますようお願い申し上げます。

日本水産株式会社
2014年2月5日発表
証券コード：1332

お問合せ先：経営企画IR室広報IR課
03-3244-4371

<http://www.nissui.co.jp/ir/index.html>

